

## リアルな体験は成長を加速させます

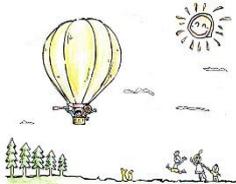
校長 高山 直也

1年で最も爽やかな季節となりました。花々が咲き誇り、その間隙をぬって若葉がぐんぐん伸びていきます。植物の成長は1年を通してスピード感にあふれると同時に、生命力を感じさせます。

白金小学校でも、2月の梅の花から始まり、入学式の時には桜、チューリップなど、花々の競演が始まりました。玄関も常に花がしつらえられ、子供たちを優しく迎えます。これらの環境は、子供たちの学びや癒し効果をはじめ、訪れる方たちの笑顔のためにも、私たち教職員が、意図的に狙って植えて育てています。昨年完成させたビオトープも、都会でリアルな自然体験をさせたい、水辺の生態系を観察させてあげたい、という意図的戦略です。体験や経験、実物との出会いは、学習した知識を裏付け、知的好奇心を引き起こし、脳を活性化させます。昔はそこら中に体験のタネがたくさんありましたが、今は子供たちの学びや成長の為に、大人側が意図的・戦略的に環境を用意していく必要があります。学校には「子供が生活・学習する場を、意図的に学べる環境にしていく」役割があります。



視点を変えてみましょう。これから「行く」、「子供にとって未知の場や環境について」はどうでしょう。分かりやすく言えば、旅行やお出かけのことですが、もうお分かりのように、体験が必要な時期に「ダイナミックに」体験・経験できるのは、お家で行く旅行やお出かけしかありません。低学年は、生き物の原点、自然にどっぷり。中学年は運動能力が発達し好奇心があるので、体を使った自然体験がおすすめ。高学年は「知的旅行」に飢えています。農・工・水産業や、地理・歴史等々。有料・無料に限らず、今の時代、ご当地は体験をさせるネタをたくさん持っています。学童期、頭と体が急速に伸びるこの黄金期は短いです。子供の成長に価値ある投資をしてください。ちなみに、私が子供連れで最高だった体験は、北海道は十勝平野の熱気球フリーフライトでした。雲の上に出た瞬間と、森の木々の



すぐ上を滑るように飛んでいるあの体験は、小5だった娘の常識を破る、価値ある体験でした。もちろん私も(^\_^)！で親も幸せ♡

## 特別活動について

特別活動主任 忍田 雄治

「特別活動」では、集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組みます。互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、様々な資質・能力を育成していきます。活動内容は大きく4つに分けられます。

- 1 「学級活動」は各学級において、学級会での話し合い活動や係活動などを発達段階に合わせて設定していきます。
- 2 「委員会活動」は9つの委員会に分かれ、高学年の児童が協力し、学校生活の充実と向上を図るために、計画を立て役割を分担して活動していきます。
- 3 「クラブ活動」は、4～6年生の児童が協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立てて運営していきます。
- 4 「学校行事」は、全校または学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深めていきます。例えば、始業式や終業式といった儀式的な行事や健康安全・体育的行事である「運動会」などが挙げられます。

そして、来月から6年生を中心とした異学年交流活動である「プラチナタイム」が始まります。また、今年度は「展覧会」も予定しております。児童一人一人が達成感や満足感をもって主体的に「特別活動」に取り組めるように、全力で指導していきます。